

講義名	日本語C【留学生科目】		
科目区分	留学生科目		
担当教員	野村 由香里		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3時限	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

**主題と概要**

大学ではレポートの作成、また、卒業論文の執筆が必須である。そこで、この授業では論文の書き方を基礎から学習する。具体的には、話し言葉と書き言葉の違い、論述文に合う文体、文章の要約、また、文章全体の構成、参考文献の書き方等、順を追って学習していく。

**到達目標**

留学生が大学でレポートや論文を書く際に必要な基礎知識を身に付ける。

**提出課題**

授業中に指示

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック**

授業中に個別に指示

**評価の基準**

授業中の課題点（70％） 期末課題（30％）

**履修にあたっての注意・助言他**

1. 出欠確認は毎回点呼を行う
2. 5回以上欠席した場合は期末試験を受けることができない
3. 授業が始まって15分以内の入室は遅刻とみなし、遅刻3回で1回の欠席となる
4. 15分以上の遅刻は欠席とみなす（授業は受けてもよい）
5. 授業時には辞書を携帯すること

<b>教科書</b>
. 使用しない。

**プリント資料及び参考文献**

『小論文への12のステップ』友松悦子著 スリーエーネットワーク 2008 ISBN978-4-88319-488-9 C0081  
『大学で学ぶための日本語ライティング』佐々木瑞枝他著 The Japan times 2006 ISBN4-7890-1221-2  
『留学生のための論理的な文章の書き方』二通信子著 スリーエーネットワーク 2008 ISBN978-4-88319-257-1 C0081

**授業計画**

1. 授業内容や評価などの説明／表記の仕方1
2. 表記の仕方2
3. 文体
4. 話し言葉と書き言葉
5. 小論文によく使われる表現
6. 段落
7. 要約文を書く1
8. 要約文を書く2
9. 中間期理解度試験の実施及びその解説
10. 意見文を書く1
11. 意見文を書く2
12. 事実を示す方法
13. 引用の表現
14. 小論文のはじめと終わり／参考文献の書き方
15. 総括

<b>授業形態（アクティブ・ラーニング）</b>	
<input type="checkbox"/>	ア：PBL（課題解決型学習）
<input type="checkbox"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/>	ウ：ディスカッション、ディベート
<input type="checkbox"/>	エ：グループワーク
<input type="checkbox"/>	オ：プレゼンテーション
<input type="checkbox"/>	カ：実習、フィールドワーク

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

1. 授業前には、その日に習う事柄に一通り目を通し、分からない言葉があれば調べておく
2. 授業後には、その日に学習したことを、もう一度復習しておく
3. 日頃から日本語の書き言葉に慣れるために、いろいろな文章に目をおしておく以上、1時間程度。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**